

# 大学・短大・専修学校（専門課程）修学支援制度

【宮崎県】

地方自治体等が実施する大学等修学支援制度には、宮崎県育英資金のほかに下記のものがあります。これらの制度は基本的には返還が必要となりますが、所定の条件を満たせば返還が不要となるものもあります。

各制度の詳細については、それぞれの制度の実施先へお問い合わせください。

## 母子父子寡婦福祉資金

貸与限度額（無利子） (円)

### 対象となる方

ひとり親家庭の母または父で、現在子を扶養している者、またはその子

- 修学資金  
修学に必要な資金を貸与
- 就学支度資金  
入学金、教科書、被服の購入などに必要な資金を貸与

区分		自宅・自宅外	
		自宅	自宅外
修学資金	大学	国公立 67,500	私立 81,000
	短大 専修 (専門)	国公立 67,500	私立 79,500
支度資金	大学	370,000	380,000
	短大 専修 (専門)	580,000	590,000

H29. 2. 1現在 ※修学資金は月額

対象校：大学、短期大学、専修学校（専門課程）  
 募集時期：修学資金は随時。就学支度資金は入学式前  
 申込窓口及び問合せ先：（市にお住まいの方） 宮崎県内各市のひとり親担当課  
 （町村にお住まいの方） 県福祉こどもセンター、児湯福祉事務所、西臼杵支庁福祉課

返還期間：原則として修学期間の4倍以内  
 備考：修学資金について、宮崎県育英資金及び日本学生支援機構奨学金との併用は要相談  
 限度額は上の表から変更される可能性あり

## 生活福祉資金（教育支援資金）

貸与限度額（無利子） (円)

### 対象となる方

市町村民税非課税程度の低所得者世帯

- 教育支援費  
低所得者世帯に属する者が修学するために必要な経費を貸与
- 就学支度費  
低所得者世帯に属する者の入学に際し必要な経費を貸与

区分		自宅・自宅外
教育支援費	大学	月65,000以内
	短大 専修 (専門)	月60,000以内
就学支度費		500,000以内

対象校：大学、短期大学、専修学校（専門課程）  
 募集時期：随時 ※就学支度資金は原則として入学前（3月末まで）  
 申込窓口及び問い合わせ先：お住まいの各市町村社会福祉協議会  
 返還期間：貸付金額により4年～13年以内（卒業後6月以内は据置期間）  
 連帯保証人：原則必要  
 備考：他の制度（宮崎県育英資金や母子父子寡婦福祉資金等）による貸付けが可能な場合には、他の制度を優先（学科によっては対象とならない場合あり）



## 公益財団法人宮崎県奨学会奨学資金

貸与月額（無利子） (円)

### 対象となる方

次の条件にいずれも該当する方

- ①宮崎県に本籍を有する者、又は本人の主たる生計維持者が宮崎県内に居住している者
- ②平成29年4月に大学に入学した者（在学生についても認める場合あり）

対象校：大学  
 募集時期：3月～5月頃（各大学に申請書を配布）  
 申込窓口：在学する大学  
 採用人数：5名程度  
 返還期間：貸与を受けた期間の3倍以内  
 備考：他の奨学金との併用不可（ただし、給付型については併用可）

区分	自宅・自宅外
大学	25,000

（問い合わせ先）  
 宮崎県教育庁財務福利課内  
 公益財団法人宮崎県奨学会  
 電話：0985-26-7235

## 宮崎県医師修学資金

貸与額（無利子） (円)

### 対象となる方

大学の医学を履修する課程に在学する方であり、臨床研修を修了後、県が指定する公的医療機関等に医師として勤務しようとする意志がある方

区分	自宅・自宅外
大学	月100,000
入学相当金	282,000

対象校：大学  
募集時期：4月  
申込窓口及び問い合わせ先：在学する大学又は県医療薬務課  
返 還：不要 ※返還を要する場合もあり  
連帯保証人：必要  
備 考：他の制度との重複貸与可

## 宮崎県看護師等修学資金

貸与月額（無利子） (円)

### 対象となる方

県内の看護師等養成施設に在学し、卒業後、県内の特定施設等で保健師・助産師・看護師の業務に従事することを旨とする学生

区分	自宅・自宅外
宮崎県立看護大学	32,000
民間の看護師養成所	36,000

対象校：看護師等養成施設  
募集時期：入学後（5月～6月頃）、前年度に引き続き貸与を受ける方は2月末  
申込窓口及び問合せ先：在学する養成施設又は県医療薬務課  
返還期間：借受期間に相当する期間 ※免除要件あり。  
保証人：必要  
備 考：他の制度との重複貸与可

## 介護福祉士修学資金 社会福祉士修学資金

貸与額（無利子） (円)

### 対象となる方

介護福祉士・社会福祉士養成施設に在学する方で、卒業後宮崎県内において、介護又は相談援助の業務に従事する意志のある方

※生活費加算は生活保護受給世帯の世帯員に限る。  
※国家試験受験対策費用は介護福祉士修学資金に限る。

区分	自宅・自宅外
修学資金	月50,000以内
入学準備金（貸付初回）	200,000以内
就職準備金（貸付最終回）	200,000以内
生活費加算	月30,000以内
国家試験受験対策費用	年40,000以内

対象校：介護福祉士養成施設及び社会福祉士養成施設  
募集時期：4月中（生活費加算を希望する学生は入学前に申請が必要）  
申込窓口及び問合せ先：在学する養成施設又は宮崎県社会福祉協議会  
返 還：一定の条件を満たせば不要  
保証人：必要  
備 考：他の制度との重複貸与は原則不可

## 宮崎県保育士修学資金

貸与限度額（無利子） (円)

### 対象となる方

保育士を養成する学校その他施設に在学する方で、卒業後宮崎県内の保育所等で就労する意思がある方

区分	自宅・自宅外
修学資金	月50,000以内
入学準備金（貸付初回）	200,000以内
就職準備金（貸付最終回）	200,000以内

対象校：保育士を養成する学校その他施設  
募集時期：4月中（予定）  
申込窓口及び問合せ先：在学する養成施設又は県社会福祉協議会  
返 還：一定の条件を満たせば不要  
保証人：必要  
備 考：日本学生支援機構奨学金との併用可

# 日本学生支援機構奨学金

貸与月額（平成29年度の場合）（円）

## 対象となる方

### ■ 第一種（無利息）

学力基準：評定平均3.5以上

家計基準：詳細は日本学生支援機構のホームページへ

### ■ 第二種（利息付）

学力基準・家計基準の詳細は日本学生支援機構のホームページへ

なお、低所得世帯を対象に、平成29年度進学者より給付型奨学金が創設されます（制度の詳細については、日本学生支援機構ホームページに掲載）

### ■ 入学時特別増額貸与（利息付）

希望により、第一回振込時に10～50万円を増額貸与（有利子）、家計基準：概ね400万円程度以下

（4人世帯の給与所得者の場合、大学院は除く）

※家計基準は目安、世帯の人数等により増減

区分		自宅	自宅外	
第一種	大学	国公立	45,000	51,000
		私立	54,000	64,000
	短大 専修 (専門)	国公立	45,000	51,000
		私立	53,000	60,000
		※30,000		
第二種	3万円・5万円・8万円・10万円・12万円からいずれかを選択			
入学時	初回基本月額に10万円・20万円・30万円・40万円・50万円からいずれかを増額			
※		第一種奨学金は、学校の種類・国公立・通学形態にかかわらず3万円を選択可能		
※		第二種奨学金の利息は3%を超えないよう政令で定められている		

対象校：大学、短期大学、専修学校（専門課程）、大学院

募集時期：予約採用・・・高校3年生時の春・秋頃

：在学採用・・・毎年春

：緊急採用・・・随時

申込窓口：在学する学校

返還期間：貸与総額により決定（最長20年）

備考：第一種・第二種・入学時特別増額奨学金の併用可、入学時特別増額貸与奨学金だけの貸与は不可

（問い合わせ先）

在学する学校

（詳細）

日本学生支援機構ホームページ

(<http://www.jasso.go.jp/>)

※ 上記の他に、各市町村の奨学金や学校独自の奨学生制度があります。詳しくは各制度の実施先へお問い合わせください。

### （参考）JASSOホームページ

ホーム > JASSOについて > 学生支援に関する各種調査 > 大学・地方公共団体等が行う奨学金制度  
(URL: [http://www.jasso.go.jp/about/statistics/shogaku\\_dantaiseido/index.html](http://www.jasso.go.jp/about/statistics/shogaku_dantaiseido/index.html))